

学習指導案 テーマ②

【題名】 みんなのデジタル教室 02 「フェイクニュースの見分け方」			
【学年】	【科目】	【単元名】	【コマ数】
中学校～高等学校	総合・道徳・情報	—	1 (50 分)
内容	ネット上にある「情報」の真偽を見極めるためのコツと対策		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット上に「信用できるかあやしい情報」ある理由を理解する ・同じ情報でも、見る人によって見え方が変わることがあることを理解する ・正しい情報かどうかを見分ける方法を考え、日常生活の中で適切に、前向きにネットを活用する 		
準備	PC・プロジェクター&スクリーン・スピーカー・ワークシート・筆記用具・学習プリント (+Web 環境) ※企業教育研究会が、オンライン授業もしくは出張授業で講師を行うことを想定)		
活動	教師の働きかけ		指導上の留意点
○導入 10 分	<p>【解説】 フェイクニュースがあふれているのはなぜか？ 2020 年のインターネットの 1 分間の情報量を見ながら情報の多さを伝える 2 つの記事から真実のニュースとフェイクニュースを当ててもらう</p> <p>【解説】 10 代の若者とフェイクニュースの拡散 実態調査から 10 代は「一番フェイクニュースを見分ける自信がある」と伝える 総務省の資料から、同じものを見ても見え方が違うことがある例を紹介する ⇒それは「認知バイアス」が影響していると解説する 実態調査から 10 代は「一番フェイクニュースを拡散した経験がある」と伝える</p>		・当事者意識をもってもらいように解説する。
○展開 35 分	<p>【Activity01】 拡散されやすい情報にはどんな特徴がありますか？ 拡散されやすい情報の特徴について書き出して、話し合ってもらおう。 「人に言いたくなる」「願望・希望」「意外性」「正義感に訴える」「未知」という「ニセ・御情報」の持つ 5 つの要素を実例からスライドで解説する。</p> <p>【Activity02】 フェイクニュースがみなさんや世の中にどう影響する？ フェイクニュースが生活や社会に与える影響を書き出して、話し合ってもらおう。 「社会や経済が混乱する」「消費活動に影響する」「損害賠償責任を負う」「世の中があらぬ方向に進む」の 4 つの可能性をスライドで解説する。</p> <p>【Activity03】 フェイクニュースを検証してみよう フェイクニュースの実例を模した画面を見てもらいながら、そのニュースが「フェイクニュースだ」と考えられる理由を探してもらおう。 その後「検証の手順」の 5 つのステップを紹介しながら、解説を行う。 ステップ 1 原本性 ステップ 2 ソース（出典） ステップ 3 日付 ステップ 4 位置情報 ステップ 5 目的</p> <p>【解説】「記事」と「広告」の見分け方 記事のように見える広告を見分けられるかどうか、ポイントを紹介する 例として、Facebook や Instagram では広告とオーガニック投稿を見分けられるように表示がなされていることを紹介する。</p>		<p>・ワークシート①に意見を書いて話し合う</p> <p>・ワークシート②に意見を書いて話し合う</p> <p>・ワークシート③に意見を書いて話し合う</p>
○まとめ 10 分	<p>【解説】 フェイクニュースに対する Meta の取り組み Facebook でフェイクニュースを報告する方法について、画面を見せて紹介する。 Instagram にも同じように報告する機能があることを紹介する フェイクニュースであることが視覚的にわかるラベルがあることを紹介する</p> <p>【ビデオメッセージ】 「インフルエンサー」から、中高生に向けて インスタ ANZEN カイギのメンバーから「前向きにネットを使うためのメッセージ」 ・フェイクニュースを発信しないために気を付けていることは？ ・フェイクニュースをシェアしないために気を付けていることは？</p> <p>【感想】 「今日から自分にできること」を、ワークシートに書き出そう ・これからの自分にできることを、ワークシートに書いて、共有する。</p>		<p>・Facebook を例に対策を紹介する</p> <p>・ワークシート④に意見を書いて話し合う</p>